

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

准教授

権田 あずさ (ごんだ あずさ)



講義紹介

講義の紹介

子どもの心身の発達の特徴を踏まえた上で、子どもの姿の捉え方やかかわり方を、理論と実践を通して学んでいきます。

担当科目：乳児保育Ⅰ・Ⅱ，子どもの理解と援助，指導案実践研究，幼児と人間関係，初等教育実習事前事後指導，初等教育実習Ⅰ・Ⅱ，学びのベーシック(2)，特別研究Ⅰ，卒業研究

大学の魅力

学内にこどもケアセンターが常設していることや、附属保育園が隣接していることで、子どもや子育て真っ只中の保護者の方を身近に感じながら学修できる環境は、大きな魅力です。子どもたちが、広い芝生で伸び伸びと遊ぶ姿に、活力が湧いてくること間違いなしです。

また、チューター制度をとっているので、入学から卒業まで安心して学生生活を送ることができるのも本学の魅力だと思います。

受験生へのメッセージ

子どもの頃にどのように過ごしてきたかが、その後の人生に大きな影響を与えます。

人格形成の基礎となる乳幼児期を生きる子どもたちに、わたしたちができることは一体何だと思いますか。

保育実践環境が充実している本学で、

子どもたちのもつ無限の可能性を肌で感じながら、一緒に学びましょう。

権田 あずさ

ごんだ あずさ

権田 あずさ Azusa Gonda

子ども教育学部 子ども教育学科 准教授

学歴・学位

広島大学教育学部第四類生涯教育活動系人間生活系コース 卒業（教育学士）
広島大学大学院教育学研究科 博士課程前期生涯活動教育学専攻 修了 修士（教育学）
広島大学大学院教育学研究科 博士課程後期文化教育開発専攻 単位取得満期退学
博士（教育学）（広島大学）

主要職歴

平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月 広島大学大学院教育学研究科（広島大学教育学部兼任） 助教
平成 27 年 4 月～平成 27 年 9 月 放送大学 非常勤講師
平成 28 年 4 月～平成 28 年 7 月 広島福祉専門学校 非常勤講師
平成 29 年 4 月～令和 5 年 3 月 山陽学園短期大学幼児教育学科 講師
令和 3 年 9 月～令和 6 年 1 月 広島大学・長春大学(中華人民共和国)共同教育プログラム 非常勤講師
令和 5 年 4 月～現在に至る 広島都市学園大学 准教授

専門分野

生涯発達学 保育学

主な担当科目

乳児保育 I・II, 子どもの理解と援助, 指導案実践研究, 子どもと人間関係, 初等教育実習 I・II ほか

研究テーマ

家族関係と子どもの社会的発達に関する研究

ひとこと

子どもの成長を身近で感じられる保育・教育分野は、やりがいのある仕事だと思います。

子どもたちのおかげで自分自身も成長していく喜びも味わえます。

その他（所属学会・団体）

日本保育学会, 日本発達心理学会, 日本家政学会, 日本家庭科教育学会

研究活動

受賞歴

- 1) 平成 25 年 10 月 日本家政学会中国・四国支部賞
- 2) 平成 30 年 7 月 山陽学園短期大学 平成 29 年度後期ベスト授業賞
- 3) 令和 2 年 7 月 山陽学園短期大学 令和元年度前期・後期ベスト授業賞

学術論文

- 1) 親の幼児への抱きしめ行動が対児感情に与える影響 (2) 山陽論叢第 29 巻, pp.143-149. 2023 年 3 月
- 2) 親の幼児への抱きしめ行動が対児感情に与える影響, 山陽論叢第 28 巻, pp.155-160. 2022 年 3 月
- 3) 保育者養成課程におけるオンライン授業への取り組み (2) (共)[岡田典子・権田あずさ・児玉太一]山陽論叢第 28 巻, pp.139-154. 2022 年 3 月
- 4) 保育者養成課程におけるオンライン授業への取り組み(共)[権田あずさ・児玉太一・岡田典子・谷村紀彰]山陽論叢第 27 巻, pp.189-204. 2021 年 3 月
- 5) 中学生の職場体験学習における幼児の対人行動, 山陽論叢第 26 巻, pp.151-160. 2020 年 3 月
- 6) 親から受けた愛情の認識と女子短大生の結婚・出産に対する意識との関連, 山陽論叢第 25 巻, pp.217-230. 2019 年 3 月
- 7) 現代的な諸課題に応える教育活動の研究・開発に関する共同研究 教員養成における教科教育と教科内容との連携を図ったプログラムモデルの構想に向けて (1) -家庭科・社会科・理科からのアプローチ-(共)[鈴木明子・草間和博・岡田了祐・木下博義・松浦拓也・今川真治・村上かおり・松原主典・高田宏・権田あずさ]広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト報告書第 14 巻, pp.11-17. 2016 年 3 月
- 8) 中等家庭科教員養成における教科に関する科目「保育学」の内容検討－教員養成系大学のシラバスを手がかりとして－(共)[権田あずさ・今川真治・鈴木明子]広島大学大学院教育学研究科紀要第二部第 64 号, pp.231-236, 2015 年 3 月
- 9) 家庭科教員養成における教職実践演習の効果的運用に関する研究－教育実習後の自己評価レポートの有効性の検証から－(共)[鈴木明子・柴静子・平田道憲・横田明子・木下瑞穂・今川真治・村上かおり・松原主典・高田宏・海切弘子・権田あずさ]広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト報告書第 12 巻, 2014 年 3 月

学会発表

- 1) 子どもの非認知能力を伸ばす成育環境の評価方法に関する検討(共)[岡正寛子・権田あずさ・大江由美](社)日本保育学会第 76 回大会 (熊本学園大学) 2023 年 5 月
- 2) 親からの愛情認識と青年期女子の結婚・出産に対する意識との関連, (社)日本家政学会第 72 回大会 (高崎健康福祉大学) 2020 年 5 月
- 3) 子どもの非認知能力を伸ばすための成育環境整備－子どもを中心とした保育者と家庭、地域との連携－(共)[岡正寛子・荒島礼子・権田あずさ](社)日本保育学会第 73 回大会 (奈良教育大学) 2020 年 5 月
- 4) 青年期の娘が認識する両親からの愛情と両親との日常的な関わりとの関連, (社)日本家政学会第 71 回大会 (四国大学) 2019 年 5 月

- 5) 「保育学」ふれあい体験実習における大学生の対児行動(共)(権田あずさ・今川真治)第 64 回 (社) 日本家政学会中国・四国大会 (美作大学) 2017 年 9 月
- 6) Analysis of College Students' Affective Images of Children before and after Interacting with Actual Children(Azusa Gonda, Shinji Imakawa)第 19 回アジア地区家政学会 (ARAHE2017) (東京国立オリンピック記念青少年総合センター) 2017 年 5 月